

トピックス

世界遺産について

水没の危機にさらされたヌビア遺跡群の救済が世界遺産という考えの始まりでした。アスワン・ハイダム建設に伴い、遺跡群がダムの底へと沈んでしまう可能性があったのです。先進国・途上国にかかわらず、国境や国と国との距離を超えて守るべき遺産を、国際的に協力し合い、保護・保存する必要性から生まれた概念が世界遺産です。

世界遺産の概要

- 世界遺産条約に基づき、保護を図るべき遺産をリストアップし、各国が行う保護対策を援助する
- 事務局はユネスコ（国際連合教育科学文化財団）世界遺産センター
- 自然遺産149件、文化遺産582件、複合遺産23件の合計754物件が指定されている
- 現在日本では、自然遺産2件、文化遺産9件の合計11物件が指定されている
- 暫定リストに登録したものの中から、毎年1件程度をユネスコに推薦する
- 「紀伊山地の霊場と参詣道」を平成15年1月27日に推薦済み。平成16年6月に登録見込み。平成16年には「知床」をユネスコに推薦し、平成17年6月に登録を予定している。

	我が国の世界遺産	世界遺産暫定リスト掲載物件
自然遺産	屋久島	知床（北海道）
	白神山地	小笠原諸島（東京都）
		トカラ・奄美・琉球列島（鹿児島・沖縄）
文化遺産	姫路城	彦根城（滋賀県）
	法隆寺地域の仏教建造物	古都鎌倉の寺院・神社ほか（神奈川県）
	古都京都の文化財	平泉の文化遺産（岩手県）
	白河郷・五箇山の合掌造り集落	紀伊山地の霊場と参詣道（奈良県・和歌山県・三重県）
	原爆ドーム	石見銀山の遺跡（島根県）
	厳島神社	
	古都奈良の文化財	
	日光の寺社等	
	琉球王国のグスク及び関連遺産群	



屋久島（紀元杉）



屋久島（ヤクスギランド）

平成15年 環境省と林野庁の「世界自然遺産候補地に関する検討会」の結果（富士山について抜粋）

単独峰の成層火山及び特異な溶岩台地、特殊な洞窟生物、独立峰としての美的景観は評価されたが世界遺産登録の選定基準を満たしていない部分があることを指摘

- 山麓周辺は人為的改変が進んでいる。
- 3,000mを超える単独の成層火山ではあるが、多様な火山タイプ（特徴）を含んでいない。
- ゴミ、し尿処理問題等を含む保全管理体制の確立が必要。
- 既に世界遺産に「キリマンジャロ」、「ハワイ火山」が登録されている。

富士山の世界遺産登録に関する意見（ふじさんネットワーク意見交換会等）

- 世界遺産に登録されることにより、世界的に価値を認められ、目的から考えて環境保全上も効果的なので積極的に進めるべき。
- 世界遺産に登録されることにより、多くの人々が訪れている既存の登録地の現実の事例を見て、環境保全上有効か疑問。
- 富士山の環境保全を進めるべき課題ははっきりしており、世界遺産登録の運動をすることに重点をおくよりも、必要な環境保全運動を進めることの方が当面重要。
- 富士山における世界遺産登録は、環境保全活動を果たした結果得られるものであり、目的とするべきものではない。 等